|  |  |
| --- | --- |
| 春木校章改 | 平成31年1月8日1月号ＮＯ.9**春木小学校園だより** |

学校教育目標　　元気で根気よくやりぬく子を育てる　(元気な子)

よく考え、工夫する子を育てる　(よく考える子)

力を合わせ、進んでやる子を育てる　(協力する子)

≪1月の予定≫



来年度の夏休みについて

昨年の12月17日に配布いたしました資料を確認してください。

平成31年度の夏休みが短くなることになりました。

これまで2学期開始は、9月1日からでしたが、

**平成31年度からは、8月25日になります。**1週間夏休みが短縮されます。

中学校も同じです。

**幼稚園は、これまで通り9月1日から2学期スタ－トです。**

**卒業証書授与式について**

**6年生の保護者には、お伝えしていますが、平成30年度(本年度)の**

**卒業証書授与式は、平成31年3月18日(月)です。**

**校長室から**

あの日から24年

24年前の1月17日午前5時46分。神戸に大地震が襲いました。

その瞬間、多くの人が寝ていました。私もそうでした。ただ、耳鳴りがしたような地鳴りが響いて目が覚めました。

大阪も揺れましたが、最初はそんな大惨事だとは思っていませんでした。震度3強の余震が続きました。慌てて学校へ飛んでいきました。当時勤めていた学校(春木中ですが)の校舎は無事でした。ところが、その後飛び込んでくるニュ－スは、神戸一帯が大火災であるとか、阪神高速が倒れているとか、にわかには信じがたいものばかり。

自動車電話と呼ばれた巨大な電話を車に乗せている人はいましたが、今のように携帯電話は、普及していませんでした。

神戸に住んでいた友人と連絡がついたのは、3日後。無事を確認しに大阪の実家へ会いに行くと、新神戸から大阪駅まで倒れた建物や火災を避けながら、丸一日歩き通したとのこと。

夜大阪に着くと、デパ－トなどお店はいつも通り営業していて、地下鉄には、仕事帰りのサラリ－マンがいつも通り吊革にぶら下がり、学生が参考書を開いていたり。そこには、何も変わっていない、いつもの日常の風景があって、「朝の地震は本当の出来事だったのか」とかなり自問していると語ってくれました。

24年たって、東日本大震災も経験して、すっかり神戸のことが忘れ去られていく気がして、昔のことを綴(つづ)ってみました。